



◆西脇 康 議員

農業政策の今後は

町長 計画をもって進める

農業従事者の高齢化や離農者が増える中、全国的にも深刻化する後継者不足。各地域の農地を守る取り組みを模索する。

問 担い手の若手・後継者の育成確保は。

答 「ぎふ農業・農村基本計画」に基づき、今年度新たに経営継承・発展支援事業を実施。引き続き若手・後継者の育成確保に繋がる支援を行う。

問 農道・排水機の老朽化等の対策は。

答 土地改良区の統合を推進し、組織の運営基盤強化を図り、土地改良事業による基盤整備や、農道整備並びに湛水被害から、農地を守るための排水機の更新など、計画をもって進める。

問 産地パワーアップ事業の今後の課題は。



養老町の田園風景

問 みどりの食料システム戦略の取り組みは。

答 当戦略は、農林水産業全般にわたる内容で、全ての対応は困難であるため、現在取り組んでいる支援事業等出来る事から取り組む。

答 サラダコスモ養老生産センターが竣工し、関係機関との連携を図りながら、農業者の所得増大を進め、加工業務用野菜の生産復興を図り、併せて土地改良事業により圃場の改良や整備を進める。

県新食肉施設の建設地はどこ

町長 発表できる場所はない

問 独自の調査により候補地が判明した。大垣養老高校西側、中部浄化センター西側、沢田地区の製油会社、現食肉施設の4ヶ所で開催はないか。

答 発表できる場所はない。

問 建設候補地となる地域への説明は。

答 場所が決定し準備が整った段階で説明する。

問 土地を町が用意することにしているが、町の負担で購入、造成の上で譲渡することになるのか。町の負担分について説明を求める。

答 県の促進協議会と協議中。

問 平成27年に県食肉施設の建設場所が養老町内に決まっていたが、これまで、未だに候補地の公表ができていないのはなぜか。

答 協議中のため。

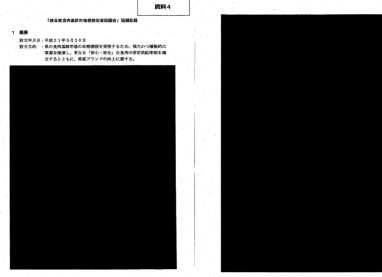
問 現施設にて雇用されている人たちの雇用はどうなるか。

答 新施設でも雇用の確保ができるよう働きかける。

町は今年度から新食肉施設の建設に向け新たに役場内に部署を設置し、整備促進のため官民での協議会を立ち上げている。



◆岩永 義仁 議員



ノリ弁状態で開示された資料

※ジェンダーレス制服の導入は

教育 高田中では11月に最終決定

問 今年7月に高田中学校においてジェンダーレス制服が展示された。町内の中学校で来年度より導入予定か。

答 制服の変更は校長が決定する。現在、高田中学校において議論されているが、生徒・保護者・地域の意見を取りまとめ、導入するかどうかについては、今年の11月に最終決定すると聞いている。

※ジェンダーレス
生物学的な性差による社会的・文化的な性差をなくそうとする考え方(例：男だから、女だから)



高田中で展示された新制服

ほかに「学校での『生理の貧困』問題への対応」と「廃止されたバス路線の代替措置」についての質問もしました。

あれからどうなったんやぁ〜 シリーズ 100

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和2年9月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

問 「ウォーキング・マップの進捗状況は。」

こうなりました

町では、令和2年度に町内11地区にウォーキングコースを設定し、マップを作成しました。コースは、景観が良く、歩きやすい道を選定しました。マップには、体力に合わせて選べるルートとともに、各地域の歴史・文化施設等も掲載しています。作成したマップは、3月広報とともにその地区のマップを各世帯に配布し、町ホームページにも公開しています。

令和3年度には、コロナ禍においても密にならずに健康増進に取り組めるよう、スマートフォンアプリケーションソフトを使ってのウォーキング大会、「オクトバー・ラン&ウォーク2021」に全国約300の自治体とともに参加しました。町では11地区のコースを推奨コースとし、マップを利用した大会への町民参加を促しました。

